



かけ橋

秋田県立能代支援学校

No. 70

令和2年2月21日（金）



「共生社会を目指して」



校長 佐藤 淳

本校の高等部2年生2名が、1月12日（日）に上演された能代市民ミュージカル「綺談 戊辰戦争能代物語」に町衆として出演しました。小学生から70代までの43人に混じっての出演です。高等部に入学して「能代支援学校ミュージカル」公演を2回経験し、達成感などにすっかり“はまり”、市民ミュージカルに参加したようです。

話が変わりますが、幼稚園・保育所・こども園では、多様な個性をもった子どもたち皆が同じ場所で活動し、時には自然に他の子の手助けをする様子を見ることができます。この時期の子どもたちにとってはそれが当たり前であり、個性の強い子がいても排除しようとは思わないようです。小さい頃から多様な個性の友達と過ごすことで、共生意識が育まれるのではないのでしょうか。

本校の小・中学部では、児童生徒が住んでいる地区の小・中学校との交流（居住地校交流）を積極的に実施させていただいております。幼稚園・保育所・こども園で共に過ごした友達との関わりを継続し、共生社会の形成につなげたいというねらいもあるからです。小・中学校の先生方にはこれまでのご協力に感謝申し上げますとともに、今後もご協力を賜りますようお願いいたします。

また、本校の教育専門監や地域支援部等の職員は、本年度も、幼稚園・保育所・こども園、小・中学校、高等学校等において特別な支援を要する子どもたちを担当するたくさんの先生方と交流させていただきました。担当する場はそれぞれですが、特別な支援を要する一人一人の子どもを最大限に伸ばすとともに、すべての子どもに対して皆が助け合って生きていく教育を行うことにより、誰もが幸せに生きていける、思いやりのある社会をつくりたいものだと思います。

冒頭でお伝えした生徒には、卒業後も市民ミュージカルの一員として充実感のある生活を送ってほしいものです。次年度も、本校の教育専門監や地域支援部等を積極にご活用くださいますようお願いいたします。

能代山本地区 高等学校支援隊地域研修会 紹介

テーマ「高等学校における、気になる生徒への支援と実際」

- ・12月19日（木）、能代西高等学校を会場に開催しました。
テーマのもと、二ツ井高等学校 櫻庭由貴子先生と能代西高等学校 塚本奈美先生から、就職指導や支援状況の実際をお話いただきました。また、本校教育専門監 小笠原英紀より、「子どもが変わるために周りの大人ができること」という視点から、実践の紹介を行いました。
- ・参加いただいた先生方からは、「チームでのサポートの重要性を実感した」という声が多く寄せられました。個々に合わせた支援の実際を共有する、有意義な機会となりました。開催にあたり、たくさんのご協力をありがとうございました。

こんにちは よろしくね！ ありがとう またね！

～小学部の居住地校交流の紹介～

本校小学部では、今年度9校の地域の小学校に、14人が居住地校交流を実施することができました。
今年度実施した居住地校交流についてご紹介します。

湖北小学校



6年生の交流は、本校児童の得意な折り紙を題材に取り入れ、「紙飛行機大会」を行いました。小グループに分かれて紙飛行機を作成。友達の折り方を見たり教えてもらったりしながら交流を図ることができました。最後の感想発表では紙飛行機だけでなく、本校児童と交流しての感想を話してくれました！本校児童もみんなに聞こえる声で発表することができました！

小学校の担任の先生から要望があり2回目の出前授業を行いました。昨年度より本校児童との具体的な関わり場面を想定し、「こんなときどうしよう？」と関わり方を考えました。体験コーナーでは、「バースデーチェーン」に挑戦！「伝えよう」「相手の思いを聞き取ろう」という『気持ち』が大事であることを体験しました。

2回目の交流は「おもちゃランドで遊ぼう」。本校児童がうまくできたときは共に喜び、もっとうまくできるためのアドバイスをする等、おもちゃを介してたくさんの優しさに触れることができました。本校児童も、保育園時代の友達以外の児童とも、自然に関わることができました。

湊城西小学校



《 今年度の交流内容 》

体育【体ほぐしの運動、長縄跳び、サーキット運動、いか踊り(知っているダンスを紹介しあう)、ぐるぐるハリケーン、ポッチャ】

生活【おもちゃランドで遊ぼう、さつまいもの収穫、大野岱・牧場見学、白瀑神社見学、クリスマス会、わくわくランドで遊ぼう】、

図工【あつめてならべていいかんじ、形の『かくれんぼ』、クリスマス飾りづくり、紙飛行機大会】

音楽【リズム打ち、動物ラップで遊ぼう】

家庭【クリスマスパーティ(調理・会食)】

特別活動【よみきかせ集会】



今年も交流を終え、改めて事前打ち合わせの大事さを確認しています。交流における双方の児童の目指す姿、支援学校児童の好きなこと、できること、学校で取り組んでいること等、児童にかかわるたくさんの情報をお伝えし、双方の児童にとって学びある交流となるよう共に計画していきたいと思いません。不安なこと、疑問に思うことなどご遠慮なく聞いていただけるとありがたいです。来年度も居住地における交流及び共同学習をよろしくお願ひします。

☆特別支援教育に関わる情報提供や相談等、お気軽にお問合せください。



教頭

特別支援教育コーディネーター

TEL 0185-55-0691

ホームページ

E-mail

平川 研

山本 泉子

<http://www.noshiro-s.akita-pref.ed.jp>

noshiro-s@akita-pref.ed.jp

教育専門監 小笠原英紀

地域支援部(かけ橋担当)五十嵐 美月

FAX 0185-55-0681

